

道徳学習指導案

対象 第3学年

- 1 主題名 好きになること 2－(4)
- 2 資料名 「明日こそ」(「あすを生きる3」 日本文教出版)
- 3 主題設定の理由

(1) ねらいとする道徳的価値について

男女は互いに信頼と敬愛の念をはぐくみながら自己の成長を確かめ、異性についての正しい理解を深めようとする態度を育てる。中学生の時期に特有な異性を意識した言動や態度に対し、異性の特性や違いをきちんと受けとめさせ、理解させるために本主題を設定した。異性は互いが独立した人格であり、信頼と友情、敬愛と思いやりの精神をはぐくむことが大切である。また、人を好きになるといった恋愛感情は自然な流れとして起こりうることで、相手の人格を尊重するとはどのようなことなのかを考えさせたい。

(2) 生徒の実態について

中学三年生の終盤に差し掛かり、身体だけでなく、精神面の成長も見られるようになった。他人を思いやり、個人として尊重し、大人のつきあいができる生徒も見られる。ただ、異性との関係になると、恋愛感情が芽生え、異性に対しての関心が高まっているという雰囲気はあるが、同性同士のつきあいのようにはいかない。本時を通し、異性に対する関心が高まることは、自然な成長の流れであることを示しつつ、相手のことを考える、尊重するという点では異性間でも変わらないことを感じさせたい。また、互いの人格を尊重し、互いに向上していくことの大切さを気づかせたい。

(3) 資料について

本資料の内容は、現代の中学生にはありえない状況であるかもしれない。だが、花沢舞を異性として意識している主人公にとって、親友との関係を維持するべきか、といった葛藤は時代背景が異なっても、今の中学生には十分あてはまる。友人からの誘いを断り、「いったい、おれは何をしているのだろう」とつぶやく主人公になりきって、その心情を想像させたい。

4 本時の学習

(1) ねらい

異性を好きになるといった恋愛感情は自然な流れとして起こりうることを理解させるとともに、異性について正しく理解し、一人の人間として尊重して接しようとする心情を育てる。

(2) 指導過程

段階	学習活動と○主な発問	・予想される生徒の反応	●教師の働きかけ○指導上の留意点
導入	1 本日の授業目標である「異性理解」について概要を説明する	・異性について考えるのは恥ずかしい	
展開	<p>2 資料「明日こそ」を読み、次のことについて考える。</p> <p>発問① 花沢舞に「惜しかったね」と声をかけられた伸一はどんな気持ちだっただろうか。</p> <p>発問② 親友二人に「おーい、伸一」と声をかけられた伸一は、どんな気持ちだっただろうか。</p> <p>中心発問③ 足元に転がる釣りざおを見下ろしながら伸一はどんなことを考えたのだろう。 四人班になり、語り合わせる。</p> <p>3 アンケートをもとに異性についての理解を考える。</p> <p>○「異性に対してお互いにどのように考えているか見てみよう。」</p>	<p>・硬直し、どきどきしている</p> <p>・くしゃくしゃし、恥ずかしい</p> <p>・やったーと大きい声を出したい</p> <p>・ごまかさなければ</p> <p>・こっちに来るな</p> <p>・今は、それどころではない</p> <p>・舟を取り戻すことより舞に会いに行きたい</p> <p>・明日だけは勘弁してくれ</p> <p>・異性からはこんな風に思われているのか！</p> <p>・(嫌な点は) お互い様だ</p> <p>・(素敵な点は) 気付かなかった</p>	<p>●資料を朗読する (T1)</p> <p>●話の概要を板書する (T2)</p> <p>○伸一の微妙な心理を感じ取らせる。</p> <p>●発問と生徒の意見を板書する (T2)</p> <p>○親友の存在が、伸一の気持ちの中で変化してきている点を推量させる。</p> <p>●生徒の意見を板書する (T2)</p> <p>○伸一と舞、親友とのこれからの関係を考えさせる。</p> <p>●生徒の意見を板書する (T2)</p> <p>○心のノート 57 ページの「異性のここがすき・いや」を事前にアンケートをとり、結果を発表する。</p> <p>●指名により、生徒にアンケートの感想を聞いてみる (T1)</p>
終末	<p>4 授業で学んだこと、考えたこと、「異性にどう接したらいいだろうか？」をまとめる</p> <p>○今回の授業であなたが学んだことや考えたことをワークシートに書こう。</p>		<p>○異性に対する考え方、今後の生き方を考えさせる。</p> <p>●教師が数名の生徒の文を紹介する。</p>

(3) 評価の観点

- ・伸一の生き方から、異性を好きになることが自然であることを理解できたか。
- ・異性に対して相手の人格を尊重しようとする心情を育てることができたか。

5 板書計画

明日こそ（好きになるということ）
○夏休み
伸一 ↓ 花沢舞…池 大ゴイ
← 正治と拓郎（親友） …おれたちの王国
○「惜しかったね」と舞からの声
トキトキ 釣りざおをしまっ
逃げ出す
◇ウツホー
○「おい、伸一」と親友が家に来る
今は話したくない 明日はだめだ
おれたちの王国の「とほごつでもいい
○おれは何をしているのだろう
釣りざおを見つめている自分
発問一 花沢舞に声をかけられた伸一の気持ち
生徒の意見
発問二 親友に声をかけられた伸一の気持ち
生徒の意見
発問三 釣りざおを見つめている伸一の気持ち
生徒の意見